

③最終位置（咬合と配列）

クリンチェック項目

- ・患者の主訴が改善されているか？
- ・審美的結果と咬合に問題はないか？
- ・患者と最終位置に満足しているか？



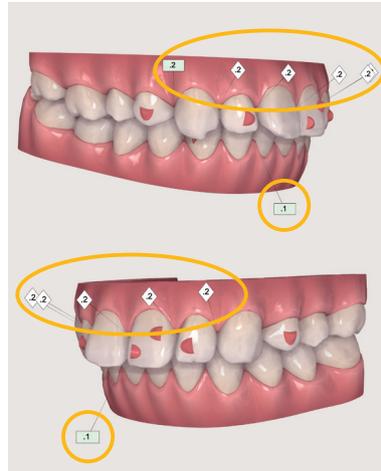
術者の診断コメント

翼状捻転の回復を行う。

④ IPR（歯間削合）

クリンチェック項目

- ・IPRが計画されている部位、量は適切か？
- ・先生の具体的な指示に従っているか？



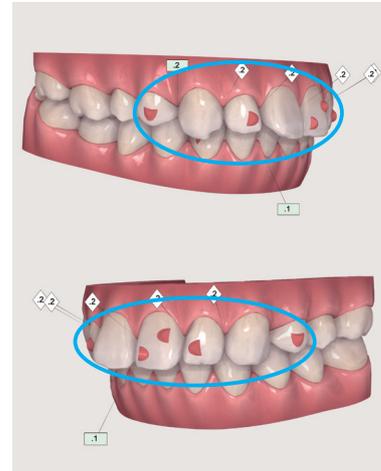
術者の診断コメント

翼状捻転の回復のために最小限のIPRを行うこととした。行わなかった場合、前歯部におけるオクルーザルコンタクトの喪失があった。

⑤ アタッチメントとライナー機能

クリンチェック項目

- 現在設置されているアタッチメントで、補綴歯や審美的理由などで、除去を希望するアタッチメントはないか？



術者の診断コメント

アタッチメントをつけずに行うことも可能であったが、動きが悪かった場合、やり直しが必要となり、ライナーの枚数が増えて治療期間が延びてしまう可能性が高いため、アタッチメントをつけた。

⑥承認



Point

クリンチェックを鶏呑みにしない。オクルーザルコンタクトは必ず確認する必要がある。CT撮影を行い、ボーンハウジングを越えた前歯部、小白歯部の拡大にも注意が必要である^{4~6}。